

NEWS TOPICS

まちなみ修景補助制度 重点地区編

今号では、まちなみ修景補助制度が適用される地区内で、さらに制度上優遇される**重点地区**の説明をします。(それ以外の地区は来号説明予定)なお、重点地区とは、重点路線(下図の赤線)に面する敷地の区域です。

[補助制度の内容]

補助対象となる建築物、門・塀等	補助率	補助金の上限額(一敷地あたり)
歴史的建築物※1	2/3	500万円
一般建築物※2	2/3	250万円
外構(門や塀など)	2/3	100万円

※1 歴史的建築物：概ね戦前に建築された木造建築物
 ※2 一般建築物：歴史的建築物以外の建築物(新築も対象です!)

[補助対象地区(北エリア)]



[一般建築物も、エントランスを修景するだけで、こんなに変わります!]



新築物件にもOK!!

修景工事の手続きや方法等、詳しいことは、堺市都市景観室(下記問い合わせ先)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。

左写真：『百年後に誇れるまちなみ』～平野郷 HOPE ゾーン 助成金活用事例より引用

INFORMATION

▶ 第1回町なみ再生連続講座「『建物を地域と文化に』活かす」

6月18日(日) 場所：堺市立青少年センター 3階 第2集会室
 時間：13:30 開始

今年度も「町なみ再生連続講座」を開催します。第1回目は登録有形文化財制度のしくみや実際の活用について、堺市の担当者や登録有形文化財所有者の方にお話をうかがいます。

▶ 「月いちバザー」

6月24日(土) 場所：堺町家案内所(内田家住宅1F) 堺市堺区北旅籠町大道
 25日(日) 時間：11:00~16:00

※予定は変更になることがあります。

▶ 協議会へのお問い合わせはこちら
 堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
 TEL / FAX 072-228-0953 [志賀]
 MAIL info@sakaimachinami.jp

▶ 「まちなみ修景補助制度」へのお問い合わせはこちら
 堺市 建築都市局 都市計画部 都市景観室
 TEL 072-228-7432
 FAX 072-228-8468 担当：河野、福島、平井

今号の表紙

今号の表紙は清学院のある六間筋(ろっけんすじ)です。左手前に見えるのが、清学院不動堂前の手水鉢。花崗岩製のこの手水鉢は、天明5年(1785) 藍谷(かごたに) 正吉より清学院に寄進されたもの。手水鉢にはそれらを記す文字が刻まれています。不動堂の建築の際に寄進されたものとも考えられます。藍谷正吉については詳しくはわかりませんが、藍谷姓を名乗る鉄砲鍛冶が資料上に見られることから、鉄砲生産に関わりのある人物であったかもしれません。この地域の歴史を物語るものとして、大変興味深いものといえましょう。

堺 環濠都市 NEWS

[ニュース]



歴史的まちなみを
未来に活かすため

堺は町家の博物館!
江戸時代前期から戦前まで
vol. 13



発行日：2017.6.6
 発行者：堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
 編集：協議会 + musubi design
 連絡先：〒590-0930 堺市堺区柳之町西1丁1-28
 TEL.072-228-0953(志賀)
 URL：http://sakaimachinami.jp/

第6回(平成29年度)定期総会を開催しました!

| 2017.4.23 堺市立青少年センター3階 第2集会室にて 午後1時30分～ |



今年度の定期総会を開催しました。ニュース11号でもお知らせしてまいりましたように、今年度から、原則として年1回の定期総会を4月に開催することになりました。総会では、「平成28年度活動報告及び収支決算書について」、「平成29年度事業計画(案)及び予算(案)について」の各議案が承認されました。その後、堺市都市景観室の方から、「まちなみ修景補助制度について」の説明がありました。

次に、一旦休憩を挟んだ後に、京都府立大学大学院教授の大場修氏より「日本の中の『堺町家』—その近世と近代—」というタイトルで、ご講演いただきました。後の質問時間も無くなる程、長時間に渡る中身の濃いご講演でしたが、次のページで堺市都市景観室の担当者の方にそのエッセンスをまとめていただいています。

TOPIC 2 平成29年度事業計画

- ①協議会ニュースの発行
- ②協議会ホームページの維持管理 等
- ③町家の利活用に向けた研究 等
- ④町なみ再生に向けた勉強会 等
- ⑤イベント等による周知啓発
- ⑥役員会等の会議開催

TOPIC 1 平成28年度収支決算

収入 (単位:円)				
項目	予算額	摘要	決算見込額	摘要
堺市補助金	500,000	堺市補助金	500,000	堺市補助金
雑収入			726	
合計	500,000		500,726	
支出 (単位:円)				
項目	予算額	摘要	決算見込額	摘要
調査研究活動費	350,000		484,646	
広報費	150,000	協議会ニュース発行、ホームページ維持管理等	210,000	協議会ニュース発行、ホームページ維持管理等
研究会開催	100,000	勉強会等	220,836	講師謝礼金、資料印刷、研修見学会開催費等
周知啓発費	100,000	イベント開催費、チラシ作成等	53,810	チラシ印刷、まち歩きマップ改訂版制作等
運営事務費	150,000		16,080	
会議開催費	130,000	会場及借上げ、資料コピー等	5,129	総会会場借上げ、資料用紙購入
事務用品購入	10,000		6,591	事務用品購入
通信・運搬費	10,000	切手代等	4,360	切手代等
合計	500,000		500,726	

TOPIC 3 平成29年度予算

収入 (単位:円)		
項目	予算額	摘要
堺市補助金	500,000	堺市補助金
合計	500,000	
支出 (単位:円)		
項目	予算額	摘要
調査研究活動費	460,000	
広報費	200,000	協議会ニュース発行、ホームページ維持管理等
研究会開催	180,000	勉強会開催費、資料コピー等
周知啓発費	80,000	イベント開催費、チラシ作成等
運営事務費	40,000	
会議開催費	10,000	総会会場借上げ、資料コピー等
事務用品購入	20,000	
通信・運搬費	10,000	切手代等
合計	500,000	

PICK UP

[講演:日本の中の「堺町家」-その近世と近代-] 京都府立大学大学院教授 大場 修氏

今年度は、協議会が設立されて4年目、修景補助制度が始まって3年目になり、地域の皆さんのご理解や関心も高まりつつあるように感じます。そのような状況の中、協議会としても、今年度は、より堺の町家や町なみについて住民自ら学び考えていく年にしたいと思い、協議会設立前の平成26年2月堺市主催の勉強会でもご講演いただいた、町家や民家をご専門の大場先生に再度ご講演をお願いしました。以下に、そのまとめを掲載させていただきます。



今回は大場先生流に日本の住宅の歴史を概断(がいだん)するという趣旨でお話頂きました。私達の知らない専門的な見地からのお話が満載です。

日本の住宅の歴史は、「高床式住居」と「竪穴式住居」の2つの系譜から発展してきたこと、三層からなる金閣寺も先生から見れば「1階は神殿造り、2階は当時の書院造り、3階は舶来の中国スタイル」の特徴ある建物であること、日本の町家は通し柱が上まで続く「京都型町家」と軸組・梁組で造られ分解できる「在来型町家」に分けられることなど。

また、堺の町家についてもずいぶん褒めて頂きました。京都でもほとんど見つけられない銅板の素晴らしい箱軒町家があること、京都や滋賀でも殺風景になりがちな角地を堺では入母屋屋根や虫籠窓を各通り側に配置するなど角地対応の町家があること、裕福な町家の特徴である高塀造りが非常に多く、外からは気付かせない形でその奥に素敵な玄関庭があることなどです。先生曰く、「江戸時代から明治、大正、昭和初期と各時代の町家を迎える素材を残しているのが堺の町家」ということで、素敵な堺町家を改めて感じられた一日となりました!

なお、平成26年の大場氏の講演は「堺旧環濠都市の町家と町並景観」で、堺の町家などについて詳しく述べられました。その内容のまとめは、堺市 HP に掲載されています。興味のある方は、ご一読されることをお勧めします。

堺市 HP トップ→市政情報 [画面右上]→都市計画とまちづくり→都市景観→堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会→第4回歴史的なまちなみ勉強会と巡って行くくと到達します。URL は以下の通りです。
<http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/toshikeikan/machinami/4-machinami-benkyokai.html>

[協議会の町家・町なみに関する新たな取り組み] ※予定は変更されることがあります。

▶町家・町なみ勉強会 新

江戸時代初めから戦前までの、それぞれの時代の、特徴的な外観様式を持つ貴重な堺の町家や町なみを、基礎から楽しく理解するために、住民自ら勉強会を開催します。

場所:堺町家案内所 毎週木曜日 14:00~15:30 (休みは案内所に掲示)

*堺町家案内所(内田家住宅1F)

昨年度より、協議会の広報スペースとして開設。毎週木曜日 13:30~16:30 OPEN です。お気軽にお立ち寄りください。

▶町家・町なみに関する聞き取り調査 新

上記勉強会を踏まえ、実際に町歩きをして確認し、地域の方々にも聞き取りをして、教えていただきます。

▶町なみ再生連続講座 続

第1回講座 ニュース裏面 INFORMATION 参照

第2回講座 「鳴海先生と歩く、堺寺町」町なみ再生イベント週間期間内に予定

第3回講座 未定

▶町なみ再生イベント週間 続

10月28日(土)~11月3日(金・祝) 昨年に引き続き、この間、堺町家案内所での展示や町歩きなどを行います。